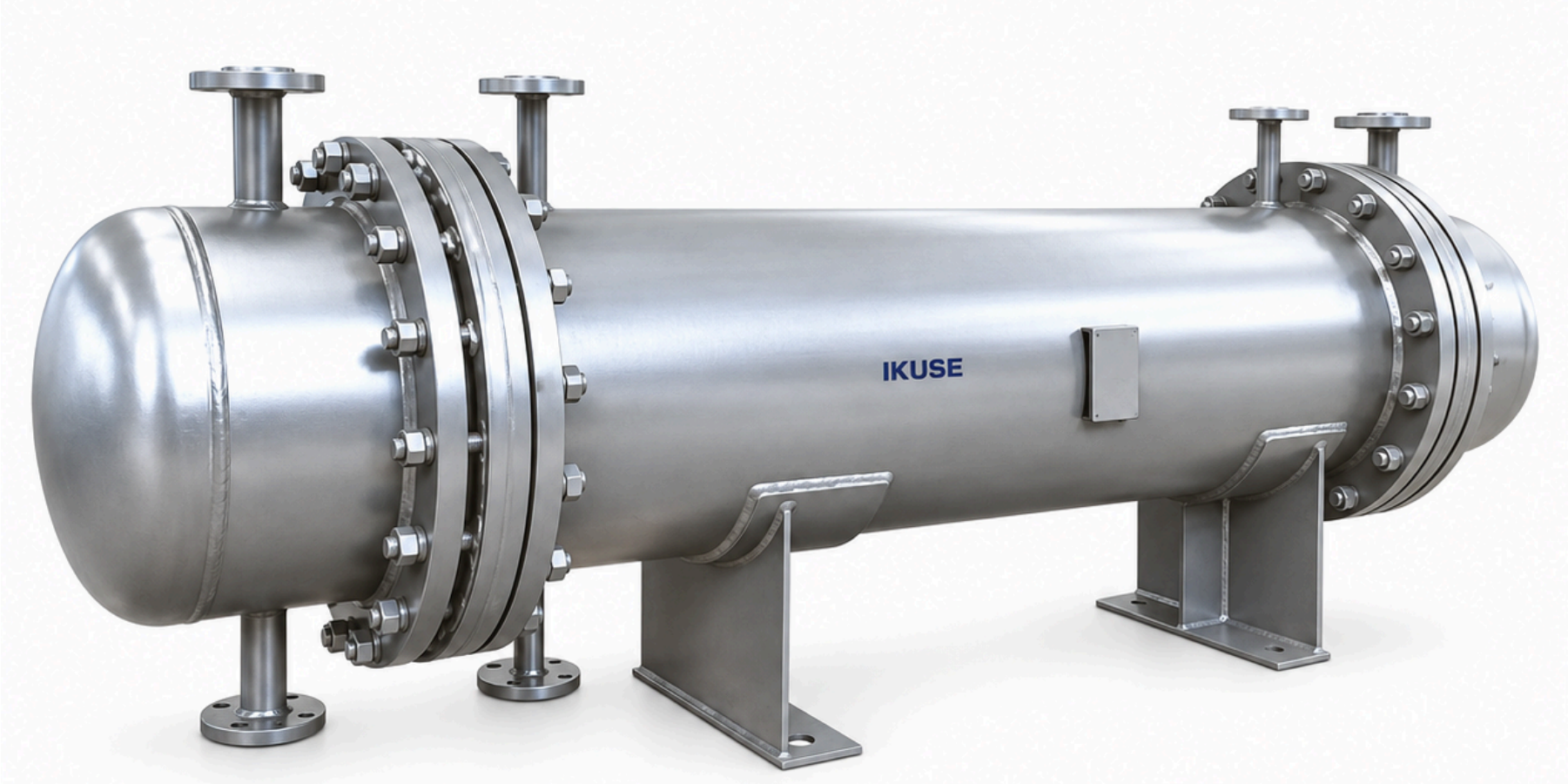


製品と技術仕様



概要

炭化ケイ素製の管束に二重シールと二重管板を組み合わせ、腐食性のプロセス流体とユーティリティ側を分離します。胴およびシールの材質は、流体、温度、圧力に応じて選定します。

技術仕様

項目	構成・仕様
ブランド	IKUSE
伝熱管	炭化ケイ素（SiC）
主要構成部品	胴、管束、管箱、バッフル、管板、シール
シール構造	二重Oリングシール
隔離構造	独立した隔離室を備えた二重管板
胴の仕様	炭素鋼、ステンレス鋼、PTFEライニング、ガラスライニング、耐食金属・合金

構造と材質



二重シールと二重管板

伝熱管の両端に二重Oリングシールを設けています。二重管板の間には独立した隔離室を設け、シールの損傷や漏れによる流体混入のリスクを低減します。

選定した構造に応じて、隔離室、胴側、管側の圧力関係および許容差圧を確認してください。

材質の選定

SiCエンジニアリングセラミックスは、熱伝導性、硬さ、耐摩耗性を備えています。流体の濃度と温度を考慮し、胴およびシールの材質も併せて選定してください。

胴には、炭素鋼、ステンレス鋼、PTFEライニング、ガラスライニング、耐食金属・合金などを選択できます。